

観光立県「富士の国やまなし」の確立



創 甲斐TALK



創・甲斐
プラン21
を考える

▶野田金男
(山梨県観光部長)

観光客のニーズや目的が多様化するなかで、山梨はどのような観光地づくりを行うべきか。語ってもらった。

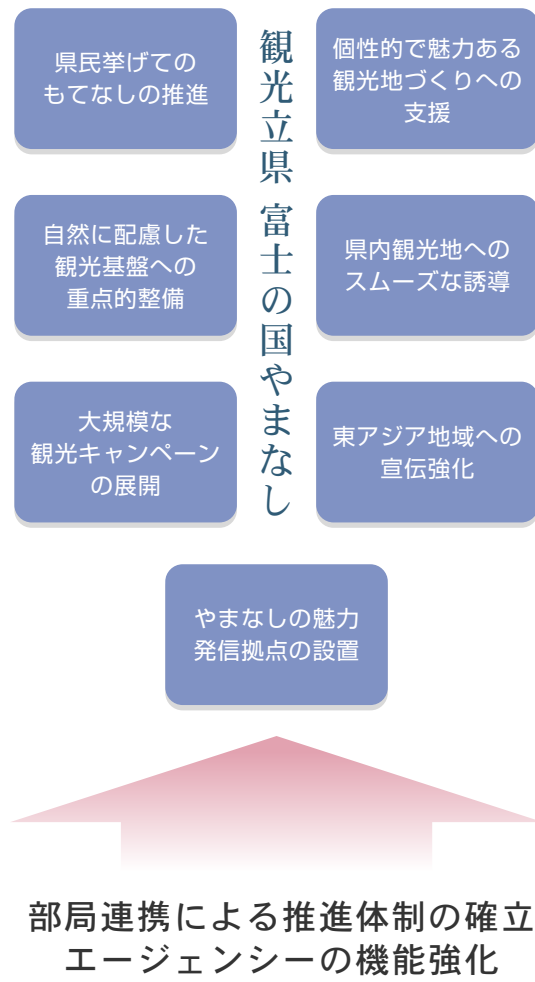
野田 山梨県では「観光立県富士の国やまなし」を宣言し、日本一の観光地づくりを目指し、観光振興に取り組んでいます。これからの観光振興のポイントは何だと思えますか。

小林 これからの観光というのはいわゆるサイトシーイングだけではもたないと思うんです。観光地に何度も何度も足を運んでもらうようにしていかないと。そのためにはただ「見て終わり」の観光ではなく、何かを体験したり参加したりすることが重要になってくると思います。

野田 そこで、エコツーリズムという考え方が、ひとつのキーワード

Profile

小林 英俊 (こばやし ひでとし)
1949年兵庫県生まれ。財団法人日本交通公社理事。マーケティング部長、環境省エコツーリズム推進会議委員

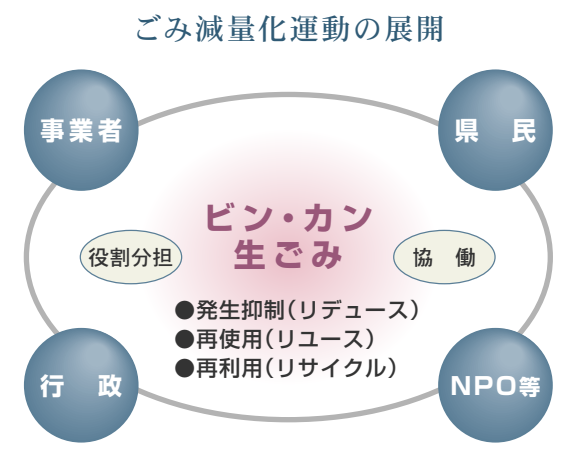


6 生涯学習充実プロジェクト
生涯学習に関する意識調査によれば、回答者の約半数の人が過去1年間に生涯学習活動をしなかったと答えており、その主な理由として、時間の制約とともに、身近なところでの学習の場や講座が少な

7 多参画社会づくりプロジェクト
人口減少時代を迎える中で、社会の活力を維持し、さらに向上させていくためには、一人ひとりが、社会の重要な構成員として持てる能力を十分に発揮し、みんなで地域を支える多参画社会を形成していくことが必要です。

このため、地域活動や社会貢献活動、政策・方針決定過程など様々な場面において、若者や女性、高齢者、障害をもつ人達の社会参画の促進を図ります。

【主な事業】
若者による自己表現の場の提供
県の審議会等への女性の参画拡大
高齢者の生きがいと健康づくり
障害者のスポーツ活動への参加促進



4 観光振興プロジェクト
国際化や経済のグローバル化の進展、自由時間の増大などを背景に、国境を越える国際観光旅行や国内旅行は、今後ますます盛んになることが予想されています。

観光は、旅行業や宿泊業、運輸業などのサービス業のみならず、商業や農林水産業など、多様な産業に関係する裾野の広い産業であり、大きな経済波及効果や雇用創出効果が期待できます。

このため、世界に誇る富士山などの観光資源を生かしながら、一人でも多くの観光客の獲得に向け、戦略的な取り組みを進めます。

【主な事業】
多様なツーリズムの推進 観光ボランティアガイドの育成

5 環境と調和した社会づくりプロジェクト
これまでの大量のエネルギーや資源を消費する社会経済システムは、廃棄物の増大などの身近な問題から、オゾン層の破壊といった地球規模に至る環境問題を引き起こすなど、生態系や自然に深刻な影響をもたらしており、こうしたシステムや生活様式そのものを転換することが求められています。

このため、県民、事業者、行政、NPO等が役割分担と協働のもと、ごみの減量化や二酸化炭素の排出抑制に努めるとともに、美しい自

もてなし運動の推進
メディアを活用した効果的な情報発信
東京圏におけるPR等の強化

野田 山梨県では「観光立県富士の国やまなし」を宣言し、日本一の観光地づくりを目指し、観光振興に取り組んでいます。これからの観光振興のポイントは何だと思えますか。

小林 これからの観光というのはいわゆるサイトシーイングだけではもたないと思うんです。観光地に何度も何度も足を運んでもらうようにしていかないと。そのためにはただ「見て終わり」の観光ではなく、何かを体験したり参加したりすることが重要になってくると思います。

野田 そこで、エコツーリズムという考え方が、ひとつのキーワード

野田 山梨は富士山、南アルプス、八ヶ岳をはじめ、豊かな自然環境やフルーツ、ワインなどの特産品や温泉など、観光資源にとっても恵まれているんですね。これらの観光資源をバラバラにPRしていくのではなく、広域的に連携させて、「山梨の観光」という、ひとつのブランドをつくり出すことで、効果的な訴求というものができるとは思いませんか。

野田 ブランド化という面では、地域の人たちが、自分の郷土に誇りを持てる観光地づくりをしていきたいと思っています。まさに「住んでよし、訪れてよし」ですね。

小林 これまでは「癒し」がひとつのテーマとなっていました。これからは、「元気になる」がテーマになると思うんです。山梨にはそんな観光地になれる資質が十分あると思います。

野田 ありがとうございます。地域のみなさんと協力しながら、「山梨に来てよかった。また来たい」と思ってもらえるような。観光地づくりをしていきたいですね。